

さあ！みんなの知恵と力で、この「削減計画」を阻止していきましょう。

全医労は9月26日に厚生労働省が「再編統合の必要性について特に議論が必要な公立・公的医療機関等」を公表したことについて、以下の通り声明を発表しました。

全独法支部は、自治体への要請行動や施設長に対する要求書提出を全支部で取り組み、下記の「削減計画」を阻止していきましょう。

厚生労働省 424 病院に「再編検討が必要」と公表！

国立病院は 30 施設が対象

9月26日、厚生労働省は地域医療構想に関して、病床数や診療体制を見直す検証が必要と判断した公立・公的医療機関等(以下、公的医療機関)424病院の名称を公表しました。

そのなかには国立病院30施設も含まれており、今後、厚生労働省は2020年9月までに各施設に対応方針を決めるよう要請しています。

今回の厚生労働省の要請は、強制力のあるものではなく、国立病院機構も「理事長メッセージ」で「公表対象になったことをもって機構病院が直ちに縮小あるいは廃止となるものではありません」と明言しているとおり、対象病院の再編統合が決定したわけではありません。

しかし、報道等を受けて、患者や地域住民、そして職員に大きな不安が広がっています。

2025年の病床数を、今より5万床ほど少ない119万床に削減していく計画

厚生労働省は、全国339の区域ごとに医療提供体制の将来像を示す「地域医療構想」をてこに、都道府県に病床削減の計画をつくらせ、2025年の病床数を、今より5万床ほど少ない119万床に削減していく計画を推進しています。

しかし病床削減計画の策定が思うようにすすまない中、自治体病院など公的医療機関を標的にした再編統合を押しつけようとしています。

R ろうきん からのお知らせ

毎週水曜日は窓口です。

財形は給与天引きで、いつの間にか貯蓄出来ますよ。
(時間の都合が悪い方はご相談いたします。)

ご意見・要望・セクハラ・パワハラ問題・医労連共済・労働金庫利用などは組合事務所(内線2542)か眞鍋公三
080-8869-0410 E-mail sakura.5030@docomo.ne.jp
★みなさん気軽に組合事務所にきてねえ。
★月・水・金、午後から書記石垣市子に対応していま～す。

公的医療機関の縮小・再編ありきの「机上の空論」であり、断じて認められない



今回の対象病院を選定する根拠となった診療実績の分析は、地域の医療や介護を取り巻く実情や、医師・看護師不足などによる影響などがまったく考慮されておらず、公的医療機関の縮小・再編ありきの「机上の空論」であり、断じて認められません。とりわけ国立病院は、政策医療（セーフティネット系医療）と一体となった急性期医療を提供しており、一面的な分析で要不要を判断することなどできません。

慢性的な人手不足と高度化する業務内容によって、長時間過密労働が強いられている医療現場の切実な声をいっさい聞かずに、機械的な分析による公的医療機関の縮小・再編を押しつけるならば、患者や家族の負担を今まで以上に重くし、「医療難民」「介護難民」などに追い込むことになりかねません。

いま、政府・厚労省が行うべきことは、医師、看護師、そして介護職員などを他の先進国並みに増やし、誰もがいつでもどこでも安心して十分な医療や介護を受けられる体制を、すみやかに構築することです。

超高齢化社会の到来が叫ばれ、所得格差や地域格差の拡大が深刻な社会問題となっているなかで、憲法 25 条が定める「生存権」を保障する公的医療機関の役割はますます重要になっています。

全医労は、公的医療機関の充実・強化と地域医療を守る日本医労連の運動に強く結集するとともに、八雲病院と徳島病院の廃止を許さず、すべての国立病院が患者・国民から期待される医療機関になるよう引き続き全力で奮闘していきます。

職員のみなさん、ご支援・ご協力をお願いいたします。

2019年9月27日

全日本国立医療労働組合 書記長 前園 むつみ

【国立病院機構における再検証対象医療機関として公表された病院】



北海道	函館
東北	盛岡、仙台西多賀、宮城
関東信越	霞ヶ浦、宇都宮、東埼玉、千葉東、村山、神奈川、西新潟中央、新潟、まつもと
東海北陸	静岡てんかん・神経、東名古屋
近畿	あわら、宇多野、兵庫中央
中国	松江、南岡山、広島西、山口宇部
四国	東徳島、高松、愛媛
九州	大牟田、東佐賀、熊本南、宮崎東、宮崎

